
仲道 郁代 Ikuyo Nakamichi, Piano

桐朋学園大学 1 年在学中に第 51 回日本音楽コンクール第 1 位、増沢賞を受賞。ミュンヘン国立音楽大学に留学。ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第 1 位メンデルスゾーン賞、エリザベート王妃国際音楽コンクール入賞。88 年に村松賞、93 年にモービル音楽奨励賞を受賞。古典派からロマン派まで幅広いレパートリーを持ち、日本の主要オーケストラはもとより、海外のオーケストラとの共演も数多く、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして活動している。

これまでにサラステ指揮フィンランド放送交響楽団、マゼール指揮ピッツバーグ交響楽団、バイエルン放送交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ズッカーマン指揮イギリス室内管弦楽団(ECO)、フリューベック・デ・ブルゴス指揮ベルリン放送交響楽団、P.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団と共演。99 年にはカーネギーホールでリサイタル・デビュー、2001 年にはサンクトペテルブルグ、ベルリンでコンチェルト・デビュー。05 年には、英国チャールズ皇太子夫妻ご臨席のもとウィンザー城で行われたイギリス室内管弦楽団(ECO)主催の「結婚祝祭コンサート」に出演。室内楽ではストルツマン、ハーゲン弦楽四重奏団、ブランディス弦楽四重奏団、ベルリン・フィル八重奏団、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団等と日本ツアーを行った。

CD はソニー・ミュージックジャパンと専属契約を結び、レコード・アカデミー賞受賞 CD を含む「仲道郁代ベートーヴェン集成～ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」や、「モーツァルト：ピアノ・ソナタ全集」、「シューマン：ファンタジー」、「ドビュッシーの見たもの」など多数リリースしている。著作には『ピアノの名器と名曲』『ショパン鍵盤のミステリー』『ベートーヴェン鍵盤の宇宙』(ナツメ社)、『ピアニストはおもしろい』(春秋社)等がある。

2018 年よりベートーヴェン没後 200 周年の 2027 年に向けて「仲道郁代 The Road to 2027 プロジェクト」をスタートし、春と秋にリサイタルシリーズを展開中。

一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。

オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>

(令和 3 年 8 月現在・転載禁止)